
アイノーマイノー

脳好き人間

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アイノーマイノー

【Nコード】

N9898Y

【作者名】

脳好き人間

【あらすじ】

私は私の脳を知っている。

私は、私の脳を知っている。恐らくは、他の誰よりも。

嬉しいとき、悲しいとき、脳内物質の働きを感じる。

考え事をするとき、脳の働きを感じる。

おかげで、仕事の業績は同期の中で一番だ。最近は私の出世の話もよく聞く。

他の人達は、脳を一部しか使えていないらしい。でも、私は効率よく、有効に脳を使うことが出来る。

そんな私が他の人よりも優秀なのは、当然といえば当然だ。

とにかく、仕事の準備をしようか。

時計を見ると、朝の五時丁度。私の脳は、どうやら夜の十一時から朝の五時までの時間に睡眠をとりたいらしい。

まあ、冬と夏である程度誤差はあるけれど。

よし、まずは豆腐。豆腐には、神経伝達物質の材料になる物が含まれている。というか、大豆製品全般に。

美味しい美味しい。脳も喜んでる。全く、可愛い脳だ。

うん？なんだって？

ああ、DHAを摂取したいのね。しょうがないわね。今日だけだからね。

魚、美味しいな。脳も喜んでる。

テレビを、つけ、ない。

どうして？

ああ、今日は仕事で重要な資料を作りたいから、無駄に脳を使いたくないのね。わかったわ。

あー、はいはい。日光を浴びたいのね。わかったわ。

え、外を散歩したい？

まあ、いいけど……。

でも、六時までには家に帰れるようにしてね。会社に遅刻するといけないから。

うーん、車道を歩きたいですって？

恐怖で、元気になりたい、か。気をつけてよ。

うわっ、今のは危なかった。本当に大丈夫なの？

ごめんごめん。信じてる。怒らないでよ。

…… ちょっと、あの刃物を持った人、危ない人じゃない？ 近づいちゃだめよ。

近づいちゃだめだって。 いや、あなたを元気にすることよりも、優先しないといけないことだってあるわよ。

ちょっと？

ちょっと！

ごめんなさい、本当にごめんなさい。 嘘よ、嘘だって。 あなたが一番大事。 だから、ね？

う、うわ、刺される。

…… 刺された。 刺されたじゃない！？

体が、倒れていくわ。

「頭、見てみるよ」

男が、鏡を差し出してきた。 頭？

頭、大変！ 頭に穴が空いてる。

中から脳、じゃない。 明太子が流れ出て行って……。

明太子って、あなた、今まで私を騙してたの？

ねえ、どうして本当は明太子だって言ってくれなかったの？

返事をしてよ。ねえ、早く返事をしてよ！

「お前は自分の脳を知っているか？」

男が、私に聞いてくる。私は、私の脳を、知って、いる。

「も、もちろ、ん」

「もちろん？」

「アイノーマイノー？」

自信が持てなくて、疑問形になってしまう。

男は、ニヤリと笑って言った。

「ノー」

まあ、そうだよな。明太子だったもの。

「バット」

あ、だめだ。意識が、薄れていく。

光が、暗くなって……。

「アイノーユアノー」

男はニヤリ笑って、鞆から、大きな壺を取り出す。

それを逆さまにすると、中から、脳が落ちてきた。

これが、私の本当の……………。

（後書き）

読んでいただきありがとうございます。

どうです？

誰か脳のことを好きになった人はいませんか？

可愛いとか、カッコイイとか、思いませんでしたか？

……脳ブーム、どうして来ないのでしょう。不思議でたまりません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9898y/>

アイノーマイノ

2011年11月29日22時50分発行